

この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの……

手袋(組立て時のケガ等を防ぐために着用をおすすめします)

完成図

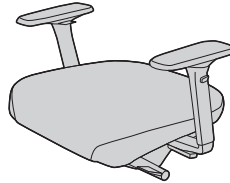


組立て部品

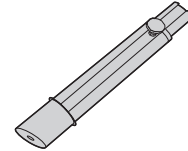
※部品の欠品や破損があった場合は、品番(150-SNC136など)と下記の部品番号(①~⑬)と部品名(ボルトAなど)をお知らせください。



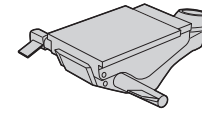
① 背もたれ×1個



② 座面×1個



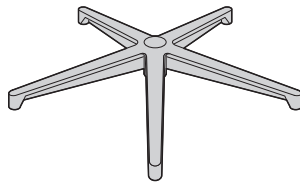
③ 支柱×1本



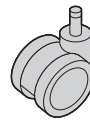
④ 座面ブラケット×1個



⑤ ガスシリンダー×1本



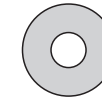
⑥ レッグフレーム×1個



⑦ キャスター×5個



⑧ スプリングワッシャー×1枚



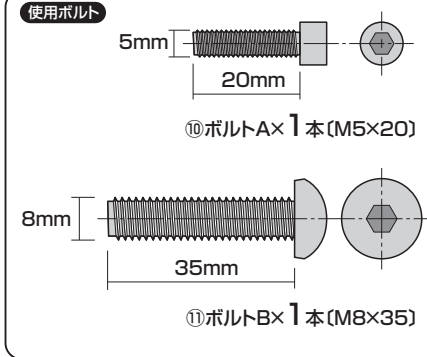
⑨ ワッシャー×1枚



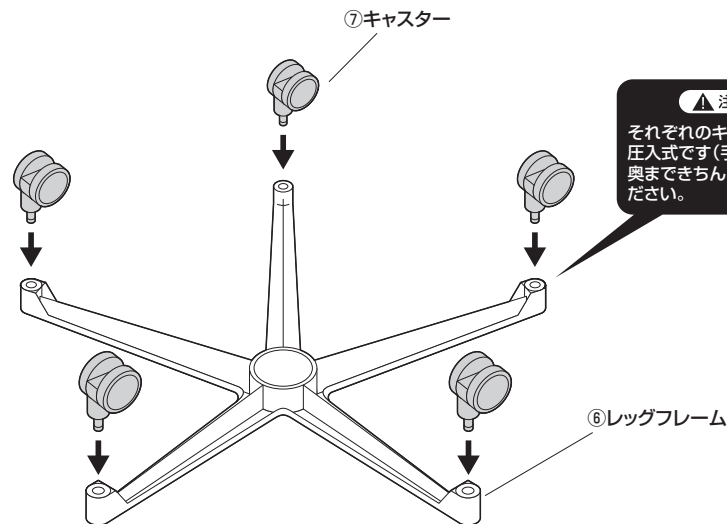
⑫ 六角レンチ(5mm)×1本



⑬ 六角レンチ(4mm)×1本

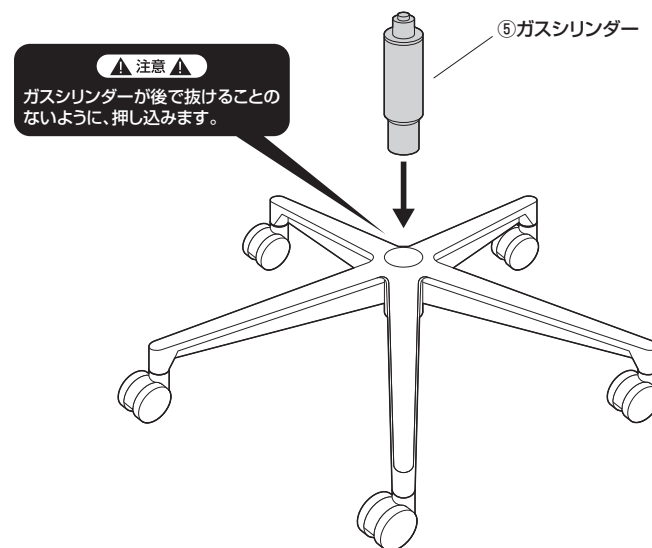


1 レッグフレームにキャスターを取付けます。



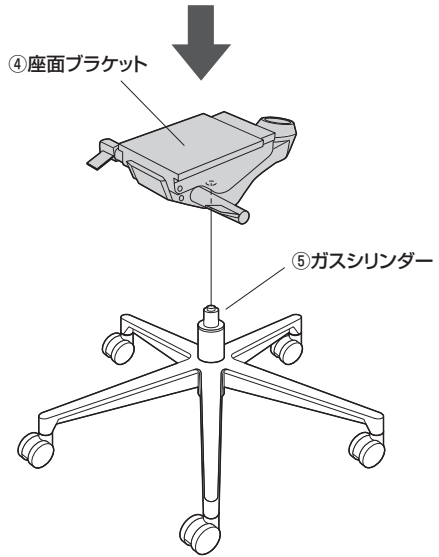
▲注意▲
それぞれのキャスターは全て
圧入式です(手ではめこむ)。
奥まできちんと差し込んでく
ださい。

2 レッグフレームにガスシリンダーを取付けます。



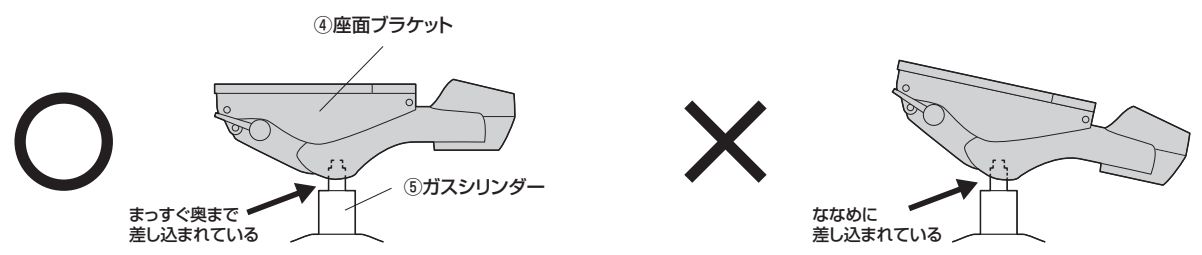
▲注意▲
ガスシリンダーが後で抜けること
ないように、押し込みます。

3 ガスシリンダーに座面ブラケットを差し込みます。



▲注意▲

座面ブラケットをガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。
座面ブラケットがななめに差し込まれていると、奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。

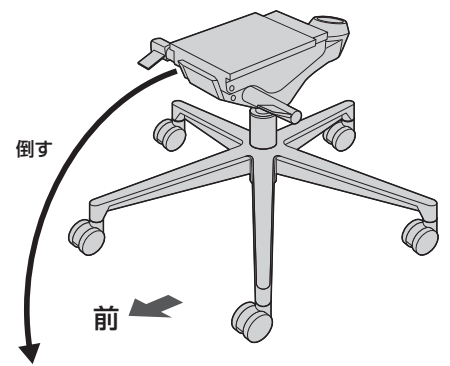


4 座面ブラケットに支柱を取付けます。

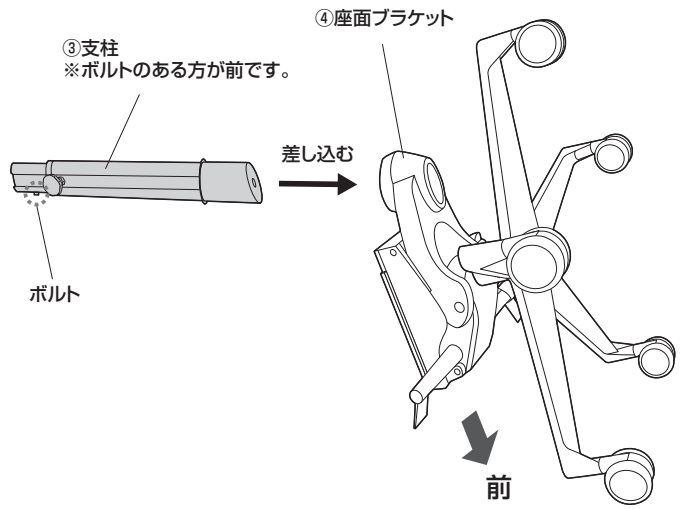
①本体を前に倒します。

▲注意▲

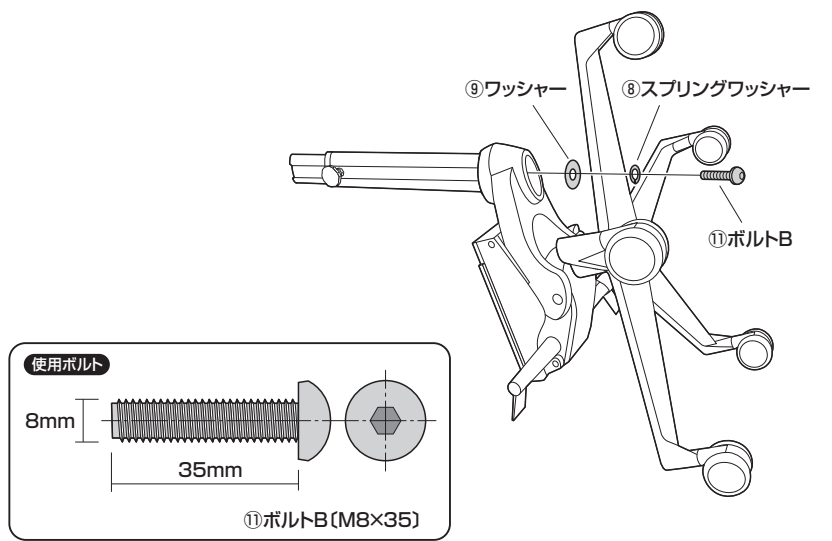
この作業は必ず大人2人以上で行ってください。



②座面ブラケットに支柱を差し込みます。



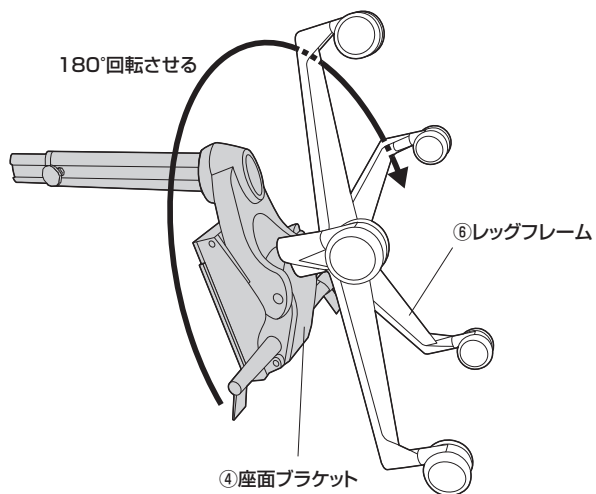
③ワッシャー、スプリングワッシャー、ボルトBで固定します。



5 座面ブラケットを180°回転させます。

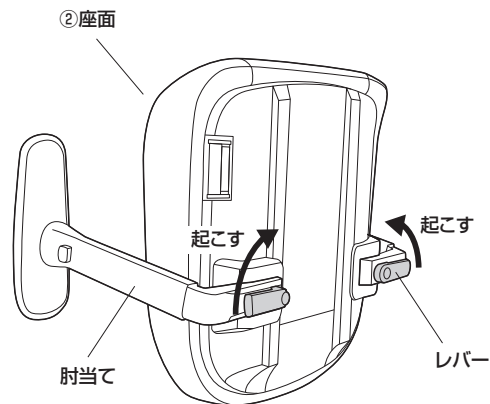
▲注意▲

この作業は必ず大人2人以上で行ってください。

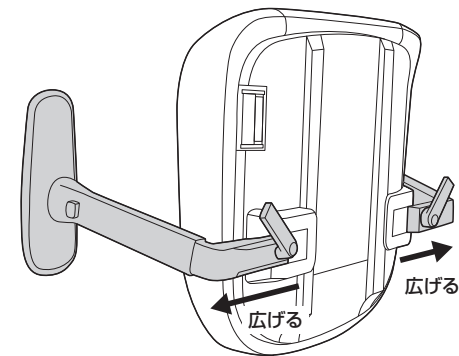


6 座面の肘当てを広げます。

①レバーを起こし、肘当てのロックを解除します。

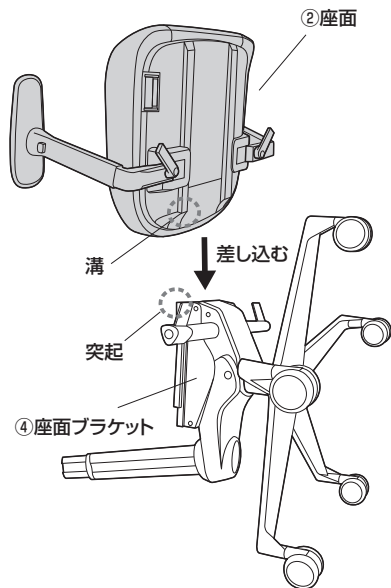


②左右の肘当てを最大まで広げます。

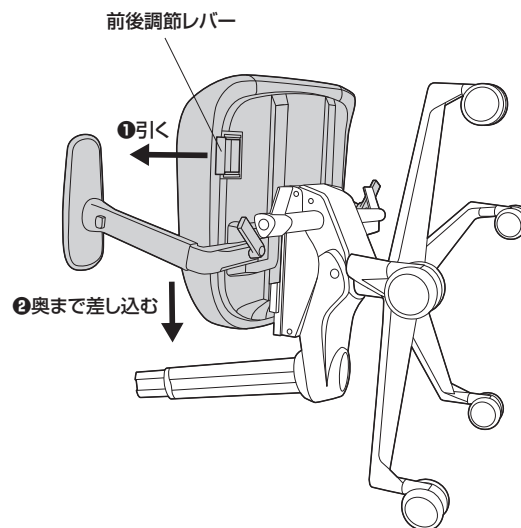


7 座面ブラケットに座面を取付けます。

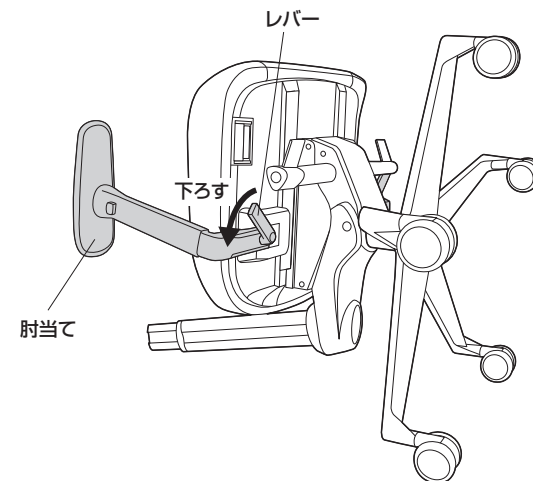
①座面ブラケットの突起に座面の溝を合わせて差し込みます。



②前後調節レバーを引いて、奥まで差し込みます。



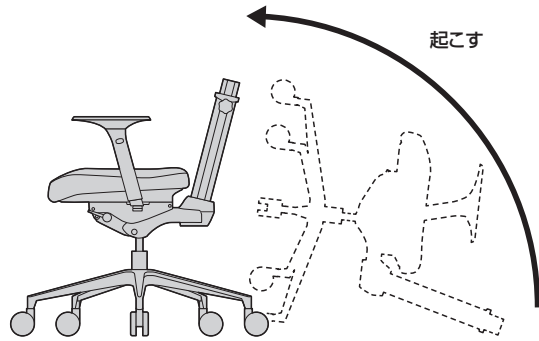
③左右のレバーを下ろし、肘当てをロックします。



8 本体を起こします。

▲注意▲

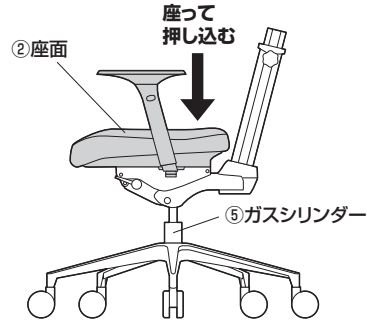
この作業は必ず大人2人以上で行ってください。



9 座面に座りガスシリンダーを深く差し込みます。

※ガスシリンダーが深く差し込まれるように、座面にしっかり体重をかけてください。

※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。
 ※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んでください。
 ※体重の軽い方では、ガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。

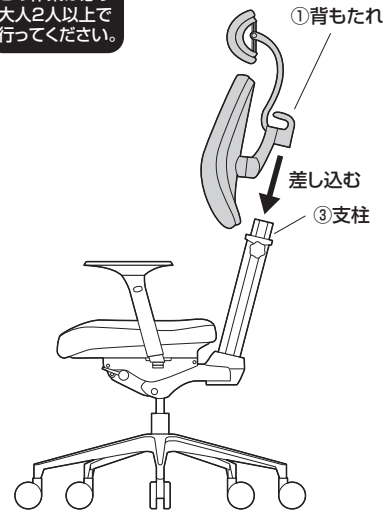


10 支柱に背もたれを取付けて完成です。

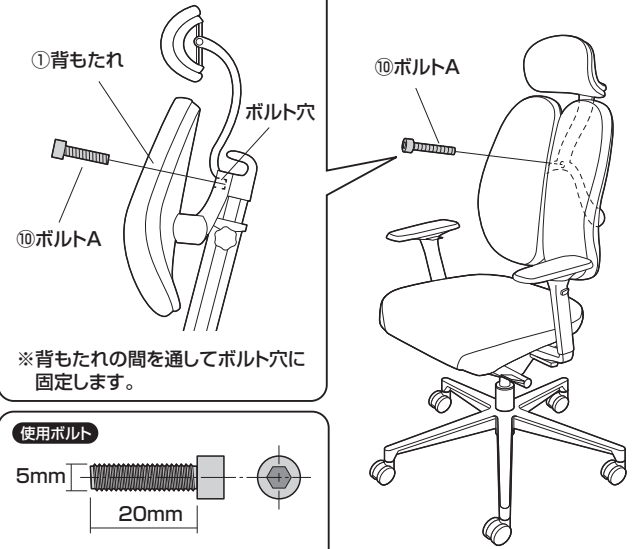
①支柱に背もたれを差し込みます。

▲注意▲

この作業は必ず大人2人以上で行ってください。

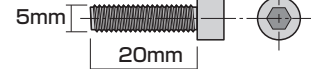


②ボルトAで固定します。



※背もたれの間を通してボルト穴に固定します。

使用ボルト



⑩ボルトA (M5×20)

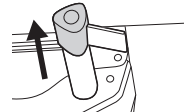
座面の調節方法

高さの調節方法

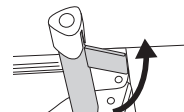
▲注意▲

レバーを引き上げてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。
 正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面を差し込み直してください。

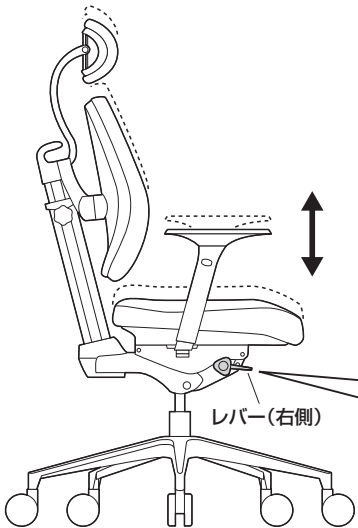
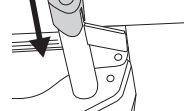
①レバーの先端を引出します。



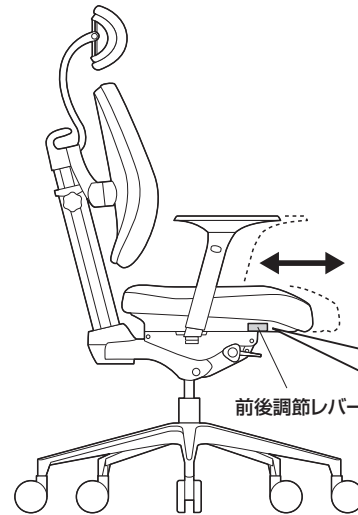
②レバーを矢印の方向へ引き上げて、座面の高さを調節します。



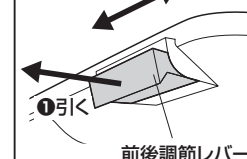
③レバーの先端を戻します。



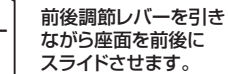
前後の調節方法



②スライドさせる



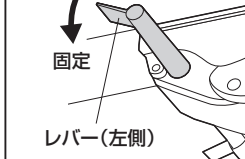
①引く



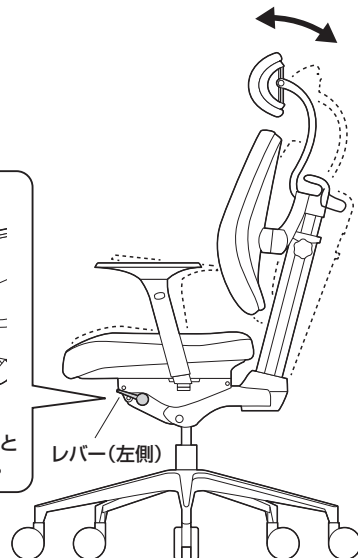
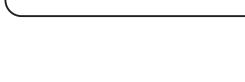
前後調節レバーを引きながら座面を前後にスライドさせます。

ロックングの使用法

ロックング



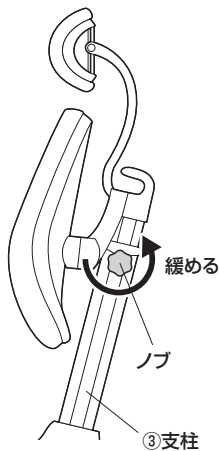
固定



レバー(左側)を上にする
とロックングします。下にする
とロックングが固定されます。

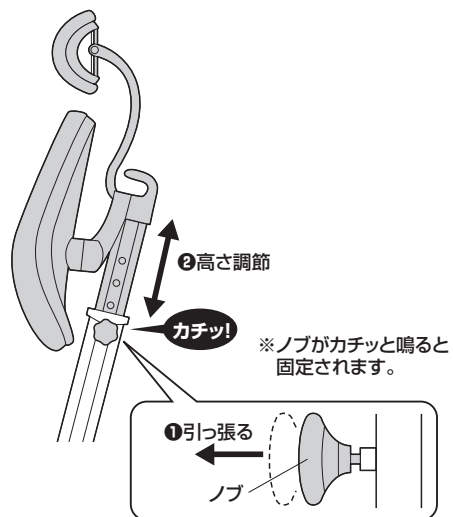
背もたれの高さの調節方法

①支柱のノブを緩めます。

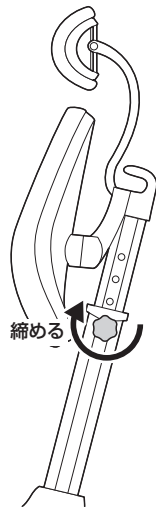


②ノブを引っ張りながら背もたれの高さを調節します。

※4段階の高さが選べます。

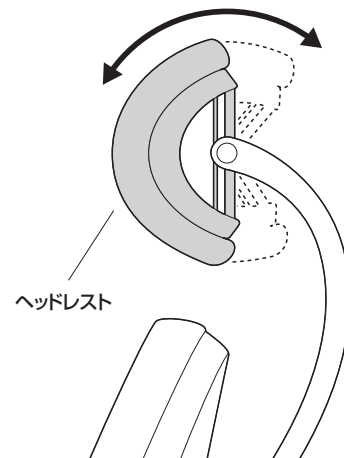


③ノブを締めます。

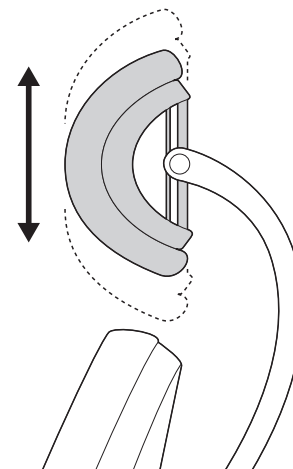


ヘッドレストの調節方法

角度の調節

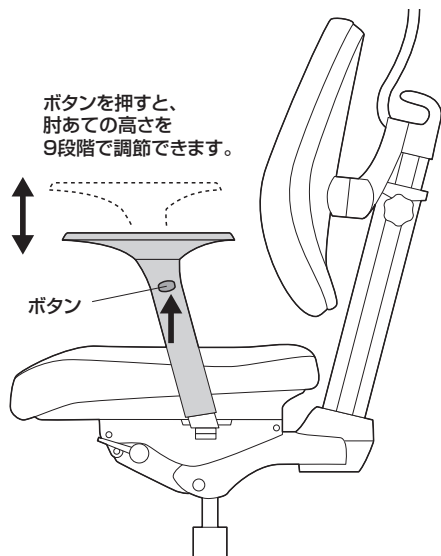


高さの調節

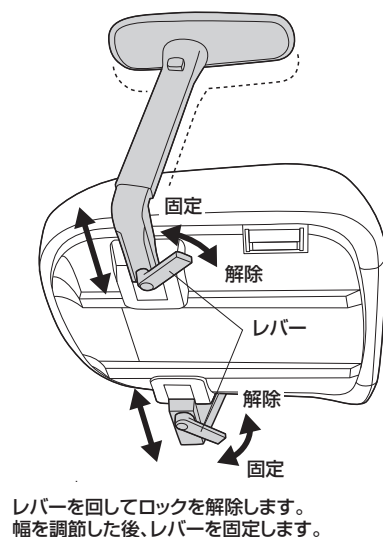


肘あての調節方法

高さの調節

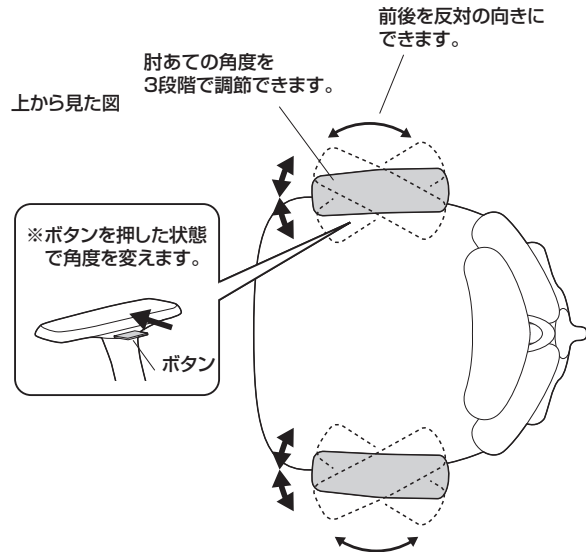


幅の調節



レバーを回してロックを解除します。幅を調節した後、レバーを固定します。

角度の調節



チェアの品質表示

構造部材:座部/ポリプロピレン、ナイロン、スチール
背もたれ部/ポリプロピレン、ナイロン
レッグフレーム/アルミ キャスター部/ナイロン、ウレタン
張り材:ポリエステル

▲ 使用上の注意 ▲

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
- 滑りやすい床面で使用しないでください。
- 用途以外で使用しないでください。
- 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
- ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
- 座面の上に登らないでください。転倒の原因になります。
- 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
- 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
- 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3〜4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
- 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
- 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。

※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。